

ポニーの“ユウタ”についてのご報告

当園で飼育していたポニーのオス“ユウタ”が 2021 年 7 月 5 日に亡くなりました。

“ユウタ”は、盛岡市動物公園に来てから約 23 年もの間、人気イベントの「ポニー乗馬」や「ポニーと仲良くなろう」など、様々なイベントで大活躍してくれました。当園で飼育してきたポニーの中で一番体が大きく、小さなお子様だけではなく大人も乗れるポニーとして他のポニーたちとは異なる存在感がありました。その体の大きさから「この子もポニーなの？」とお客様から聞かれることもしばしばでしたが、その体の大きさの通り、大らかで物おじしない、悪戯好きの人懐っこい性格で人気者でした。

(※ポニーは肩までの高さが 147 cm 以下の馬の総称です。“ユウタ”はぎりぎりポニーでした。)

年齢を重ね、股関節が悪くなったことで乗馬を引退した後も、毎日の肢のケアをしながら日中は運動場で過ごし、柵ごしにたくさんの方々とふれあっていました。

突然の別れとなりスタッフ一同寂しい気持ちでいっぱいですが、当園で大活躍してくれた“ユウタ”に感謝し、これからも全ての動物のケアに全力を尽くしたいと思います。長い間“ユウタ”をかわいがって下さり、本当にありがとうございました。

以下、今回の経緯と死因をお知らせします。

【個体情報】

- ・動物種:ポニー(愛称 “ユウタ”)
- ・性別:オス
- ・年齢:27 歳
- ・体重:290 kg
- ・生年月日:1994 年

【経緯】

- 7月3日 朝の放飼時に歩くことができず、獣医診療
レントゲン撮影により、左後肢の膝蓋骨脱臼が判明
脱臼整復を試みるが膝蓋骨の外固定できず
痛み止めの注射、湿布薬塗布、マッサージ実施
- 7月4日 食欲減退傾向のため、嗜好性の高いクローバーを給餌
昨日同様の治療と血液検査実施(検査結果は問題なし)
夕方に起立不能となり、介助しても起立できず
寝室内座臥で安静にさせる
- 7月5日 午前 7 時 10 分 死亡確認

【解剖検査の結果】

解剖検査を行ったところ、左大腿骨が骨盤に近いところで骨折していたことが分かりました。骨折により骨髄や大腿骨周囲の血管から出血し、皮下や筋肉にも血液が貯まっている状態でした。このことから、死因は外傷性の出血性ショックと考えられました。激しく転んだりぶつかったりという事故は、見ている範囲では確認されず、夜間に骨折の要因となることがあったと考えられますが不明です。また、臓器については目立った異常はありませんでしたが、これまでも後肢をかばって歩く様子が見られ、その原因として骨増生を伴う左股関節変形と、右後趾の関節伸展時の腱の異常が見られました。



盛岡市動物公園 ZOOMO

ポニー担当、獣医師、スタッフ一同